

決算報告

平成24年度の決算が第3回南牧村議会定例会において認定されました。

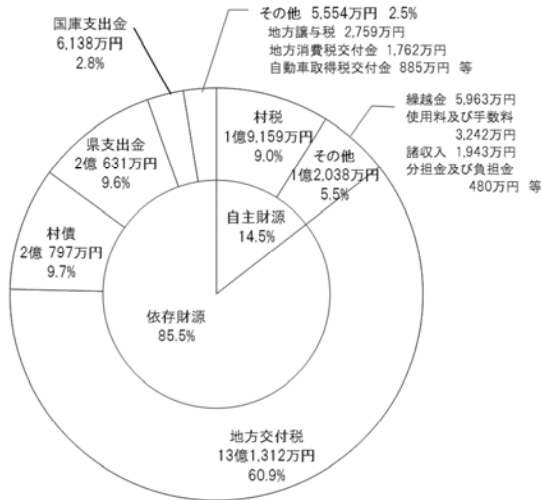
一般会計の決算額は、歳入総額 21 億 5,629 万円で対前年度比は 3.6%の減、歳出総額 20 億 2,580 万円で対前年度比は、5.0%の減となりました。歳入歳出差引額 1 億 3,049 万円から平成 25 年度へ繰り越した 1,117 万円を差し引いた残りの 1 億 1,932 万円が黒字となりました。

依然として厳しい財政状況ではありますが、引き続き行財政改革に取り組みその成果を村づくりに活かしていきます。

歳入総額 21 億 5,629 万円

歳入総額は、前年に比べ8,049万円減となりました。貴重な自主財源である村税収入は、景気低迷などの影響で個人村民税、固定資産税、市町村たばこ税が減ったため、168万円(0.9%)減の1億9,159万円となりました。国庫支出金は、国の経済対策にかかる交付金の終了などにより、1億2,343万円(66.8%)減の6,138万円となりました。

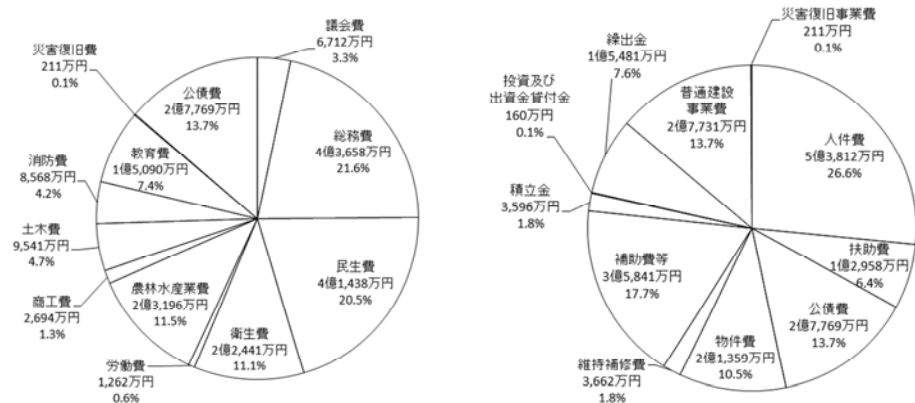
一方、歳入の6割を占める地方交付税は、前年度に比べ592万円(0.5%)増の13億1,312万円となりました。



歳出総額 20 億 2,580 万円

歳出総額は、前年に比べ1億635万円の減となりました。これは、土木費4,286万円(81.6%)、民生費3,758万円(10.0%)が増となりましたが、災害復旧費7,283万円(97.2%)、労働費1,811万円(58.9%)、農林水産業費5,134万円(18.1%)、公債費5,458万円(16.4%)が減となったためです。

歳出全般に経費節減を図り、将来に備え財政調整基金に2,000万円を積み立てることができました。



平成24年度の主な事業

生活環境基盤の整備充実

テレビ・インターネット運営事業	30,910千円
携帯電話等エリア整備事業	21,350千円
乗合バス・タクシー運行事業	20,474千円

福祉・健康増進施策充実

心身障害者福祉事業(障害介護給付費等)	66,400千円
児童福祉事業(保育園委託費、児童手当等)	48,593千円
高齢者福祉事業(敬老祝金、安否確認事業等)	15,188千円
介護保険料軽減事業	15,000千円
住民健診・予防接種事業	13,103千円

少子高齢化対策

子育て応援事業(保育料・給食費免除等)	7,626千円
75歳以上乗合バス・タクシー無料化事業	4,103千円

農林業等の産業振興

林道湯ノ沢小仁田線開設事業	140,543千円
村道農林道景観整備事業	11,616千円
林業再生緊急路網整備事業	5,737千円
林道奥山六車線舗装事業	5,198千円
オアシスなんもく景観整備事業	3,938千円

観光施策の充実

蝉の溪谷あずまや整備事業	2,583千円
三段の滝遊歩道整備事業	1,428千円

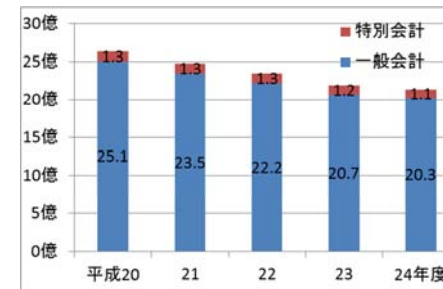
教育の充実及び文化財の保護・整備

総合運動場整地事業	6,500千円
学校・給食センター整備事業	5,435千円
民俗資料館管理運営事業	2,778千円

村債(借入金)残高の状況

村債の平成24年度末の残高は、一般会計で20億3,144万円、特別会計で1億1,237万円になっています。

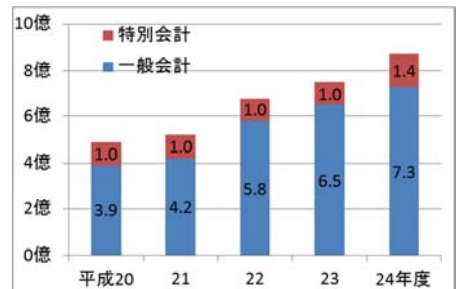
財政運営上有利な起債を活用し、計画的な発行を行っていることから年々、減少傾向にあります。引き続き後年度の財政負担を勘案した村債の発行に努めます。



基金(積立金)残高の状況

基金の平成24年度末の残高は、一般会計で7億2,569万円、特別会計で1億3,626万円になっています。

このうち財源調整のための財政調整基金は、5億9,606万円です。村税収入の減少が続く中で、今後も将来の財源不足に備えた積立に努力していきます。



特別会計の状況

会計	歳入	うち一般会計繰入金	歳出	差引額
国民健康保険特別会計	5億2,953万円	2,216万円	4億7,802万円	5,151万円
簡易水道特別会計	3,276万円	750万円	3,255万円	21万円
自然休養村特別会計	266万円	237万円	251万円	15万円
生活排水特別会計	2,216万円	970万円	2,205万円	11万円
介護保険特別会計	5億3,480万円	8,603万円	5億3,452万円	28万円
後期高齢者医療特別会計	4,828万円	2,706万円	4,828万円	0万円